

スポーツピックアップ

まだまだ暑い日が続きます。睡眠と栄養をたっぷり取って、残暑を乗り切りましょう。スポーツ少年団や市内愛好会など、団体や個人で参加した大会結果を教育委員会スポーツ振興係(☎57-7523)までご連絡ください。

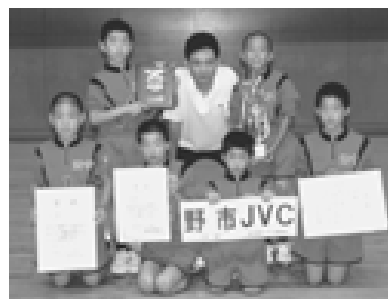
体操

【第6回四国小学生体操競技選手権大会兼U・12四国プロック予選】
7月7日(土)・8日(日)
県立青少年センター
個人総合(女子の部)
優勝 山崎 桂
(野市体操クラブ・野市小6年)
12月8日・9日に千葉県で行われる、第2回全国プロック選抜U・12体操競技選手権大会へ出場

バレーボール

【第61回香南市家庭婦人バレーボール大会】
7月8日(日)
野市総合体育館
優勝 野市体協
準優勝 夜須ママ
3位 香我美ママ
【第22回四国バレーボール小学生大会】
7月28日(土)・29日(日)
香川県高松市総合体育館

男子3組
優勝 野市ジュニアバレーボールクラブ



剣道

【第30回全国スポーツ少年団剣道交流大会高知県予選】
7月14日(土)
県立青少年センター
小学校団体(先鋒の部)
優勝 今西悠太
(野市少剣・野市東小4年)
3位 浜渦勇樹
(野市少剣・野市東小4年)
小学校団体(中堅・大将の部)
優勝 宇賀泰輔
(野市少剣・野市東小6年)
中学校個人(男子の部)
優勝 森 信天(野市中3年)
3位 西岡和紀(野市中3年)
優勝者は平成20年3月26日、28日に静岡県で開催される全国大会へ出場

【高知県中学校総合体育大会】
7月21日(土)・23日(月)
県立青少年センター
男子団体
優勝 野市中学校 佃隼人・福本裕太(1年)・西岡和紀・小松仁志・森信天(3年)
8月18日、20日に山形県で開催される全国大会へ出場

ヨット

【2007 B&G O.P.級ヨット大会西日本大会】
7月15日(日)・16日(月)
大分県杵築市住吉浜リゾートパーク
O.P.級Cクラス

2位 吉川弘樹(B&G Y ASU海洋クラブ・夜須中1年)
【第5回全国中学校ヨット選手権大会】
7月28日(土)・29日(日)
千葉県稲毛ヨットハーバー
団体
2位 夜須中学校
個人 ミニホッパー級
3位 門田貴之(夜須中3年)



全国優勝!

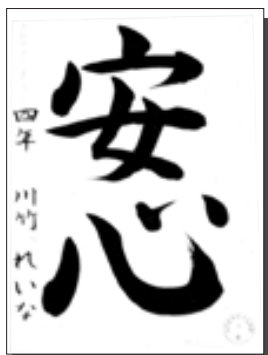
8月3日(金)に佐賀県総合運動場陸上競技場で行われた「全国高等学校総合体育大会」の陸上女子3,000M競歩で自己ベスト13分6秒44という記録で山田高校の山本知佳さんが優勝しました。

山田高校3年 山本 知佳さん(香我美町)
インタビュー

当日は大雨で、競技開始時刻が2時間も遅れるなど会場がバタバタしていましたが、いつもの平常心で臨みました。競技後は歩形違反の判定の出る10分間が何時間にも感じましたが、この試合で先輩たちの築き上げてきた「競歩の強い山田高校」を守れたことがうれしかったです。

第59回全国学生書道展 小学校の部 大賞
第42回弘法大師奉賛高野山競書大会 金剛峯寺賞

佐古小学校の川竹伶奈さんが全国の2つの書道大会で優秀な成績を収めました。



大賞受賞作品

書道を始めたのは小学校1年生から。文字のはねるところが気持ち良く書けるので好きという川竹さん。これからは難しい漢字に、もっとチャレンジしていきたいと話してくれました。



佐古小学校4年 川竹 伶奈さん

おおきな-れ!!

みてみて!うちの子

8月、大人たちがお盆休みに入るころ、わが家の子どもたちは、読書感想文と格闘を始める。

最近、学校で読書の時間があるらしく、活字離れの進む子どもたちも随分本を読む機会が増え、愚息いわく、「その本を読んで感想を文字で表現せよ」となった途端、脳が拒絶反応を起こし、固まってしまうという。そ



して、そのトラウマが毎年夏休み終盤になると蘇り、彼らを苦しめるとい言いい分だ。まったく、なんて大げさな言い訳だと、やや呆れ気味の私自身にしても、実は同じような思い出がある。毎年夏休みに入ると、私の母は本屋で課題図書を買ってくれた。これで感想文を書いたら?という親心だったと理解できるが、与えられた本を読むことが、当時の私には苦痛であった。買って買った本

読書の夏

をろくに読みもせず、終ページの解説をヒントに、原稿用紙にそれらしい文字を埋めるというテクニックを駆使して、読書感想文と格闘した夏を思い出す。かといって、今の私はどちらかというと読書が好き人間である。時として、寝る間を惜しんでも本の魅力にめりこむことさえある。読む

うちに繰り広げられるストーリーの主人公と同化し、犯人を追いかけたり、淡い恋心に浸ったりすることで、日常から掛け離れた世界を、好きな時に、好きなだけ楽しむことができる魅力がそこにはある。

読書感想文との戦いから解放されてもう数十年。この年齢になって本に親しむということは、自分が本当に読んでみたい本の出会いに始まり、誰からも感想を強いら

読書感想文との戦いから解放されてもう数十年。この年齢になって本に親しむということは、自分が本当に読んでみたい本の出会いに始まり、誰からも感想を強いら

(赤岡町・丹稜塩子)

『おおきな-れ』コーナーでは2歳の誕生日までのお子さんの応募をお待ちしています。 総務課秘書広報係 ☎56-0511